



アバン仙台 Jr. Youth News

第28回

2016年 12月号

クラブユースU14 新人戦 ～来年度への挑戦がここから始まる!～

2年生が中心となる新人大会が10月15日からスターとしました。Cグループに入り、初戦の相手はデュオパークでした。序盤は一進一退の攻防でしたが、ディフェンスラインの後ろを取られ失点。その後も、マークの付き方が曖昧となったところから、ディフェンスの後ろを取られる場面が目立ち、最後は失点する率の高いセットプレーからも決められてしまい、初戦は0-4で敗戦となりました。

2戦目はエスペランサ登米との試合。攻めることは出来ていても、各々の自分本位なプレーが目立ち前半は点を取るものの選手も納得のいかない内容。後半は少し球離れが良くなり、守備でも運動とまではいきませんが協調性を持ったプレーが増え、いい場面を作り出すことが出来ました。しかし、決定力のある選手がおらず、シュートシーンで課題を残す試合となりました。

3戦目は強豪のFCみやぎ。開始数分は運動性も見られ、いいスタートを切ったかに思いましたが、個で圧倒される場面になると、その勢いの恐れから徐々に劣勢になり、試合の流れを相手に握られ、前半だけで7失点を喫しました。ハーフタイムに喝を入れ再起を誓った後半戦。怒涛のプレスと攻撃で相手に嫌な流れを感じさせましたが、返せたのは2点のみ。逆に相手のアタッカーを封じきれず2点を追加され2-9で敗戦しました。

結果グループ3位で12月から始まる順位トーナメントで9～16位を争うことになりました。怪我人が戻ってくれば何とかできるということではありません。課題と向き合うことを疎かにせず本番となる来季の活動にいい形でつなげましょう。

予選リーグ Cグループ結果

①	10月15日(土)	VS	デュオパークFC	×	0-4
②	11月6日(日)	VS	エスペランサ登米	○	1-0
③	11月19日(日)	VS	FCみやぎバルセロナ	×	2-9

新人戦は、初戦から自分たちのサッカーをできず完敗。第3戦のFCみやぎ戦。前半から主導権を握られ、村上コーチから「全力でやろうとしてない!」と怒られ、気持ち入れ替えて本気でやることを心掛けて後半に臨みました。その結果、相手の大差への油断もありましたが、後半だけ見れば2-2という結果。この結果から残りの順位トーナメントを全力でプレーすることを大事に戦っていきます。

また、チームとしては失点の目立つセットプレーなど課題があります。自分としてもディフェンスの仕方、攻撃の関わるタイミングなど課題は山積みですが、改善して去年の9位を下回らないように全力でプレーしていきます。



花山 真大 くん

新人戦は3試合が終わり、結果は1勝2敗です。チームが今、課題としているコミュニケーション。話すことでサッカーがうまくいくことも実感できていますが、まだまだ話すことさえ人任せにしている選手がいます。

技術的な面もですが、皆が声を出し、残りの試合を全勝出来るようにチームみんなで戦っていきます。



金 昌守 くん

U13・14合同での活動開始

今まで別で活動してきた1・2年生ですが、11月から合同での活動を開始しました。一緒に活動をする目的としては、1年生は自分たち基準のプレーレベルで練習するのではなく、練習で対戦する相手のレベルを上げることで、試合で立ち上がる様々な場面での厳しさを日頃から体験していくことが目的です。

2年生は1年生を引っ張っていくリーダーシップの力を養い、成長してもらいたいです。チーム練習というよりはマイペースにそれぞれの練習をしているかのような2年生ですが、人は誰かに伝達することでそれに対する自分の理解力も向上します。ここが重要なところで、チームの熟成度につながってきます。そのため、日ごろからもっと集団でのプレーや行動を互いに心がける必要があります。

そして1・2年生を合同に練習する機会を増やすことによって、平日のテクニカルでの質をあげたいと思います。同じチームの選手たちで練習しているという感覚が薄いのが現状です。1対1の攻防一つをとってもそのテーマや思いが違ったりするとそれだけですべての攻防の質が下がってしまいます。土日のチーム活動をもっと意義のあるものにするには、当然平日での競争が必要です。ごこちない面も多々見られるのが事実ではありますが、今後も合同での活動を増やしていきたいと思っています。

平成29年度 ジュニアユース練習会

11月27日(日)に平成29年度、ジュニアユース候補生の練習会を実施しました。当日は、6名の参加でした。その選手のほとんどが、中学生の平日活動を見て興味を持ってくれた選手たちなので、コーチとしては、皆さんの活動に感謝しているところです。一つ皆さんの活動が評価してもらえたのではないのでしょうか。

今後もよい活動をしながら、希望する選手が出てくることを期待しましょう。皆さんの所属していたチームの後輩や身の回りの友人でも、活動に興味を持っている選手がいたら、アバンツァーレ公式HPやFacebookでも案内しているので、紹介してあげてください。

ジュニアユース練習会・説明会のご案内

12月18日(日)16時～15時半 アバンツァーレ室内練習場にて練習会を実施します。

その後、18時より、アバンツァーレ事務所内 指導室にて説明会実施します。前回、練習会に参加できなかった選手はぜひ参加してみてください。

お問合せは、ジュニアユース担当の畠山まで。

TEL:070-5479-1433

メール: jr-youth@avanzare-sc.com



強力な武器を持つ

サッカーは当然スポーツであり、運動能力が必要となります。しかしサッカー選手は、他の競技の選手と比べるとアスリートとしての能力はさほど高くありません。(とは言っても運動能力が低すぎてもいけません…)

ですがサッカーには爆発的な運動能力がなくても、とある部分に特化していれば試合で活躍できます。そのスーパースターの一人が現チェルシーのセスク・ファブレガスです。



セスクはメッシやピケと同時代にバルセロナのカンテラに所属しました。当時のセスクを指導したコーチによると、セスクのテクニックとフィジカルのレベルはチームでも並か、それ以下だったそうです。当時のコーチは昔を思い出して、こう言います。

セスク・ファブレガス

「彼が12歳のときに、体力テストと技術テストを実施したのですが、スピード面ではかなり数字が悪く、技術のサーキット練習でも目立った結果を残せませんでした。それどころか彼よりも年下の選手で、いい成績を残す選手が何人もいたのです」

そんなセスクが持つ優れた能力とは… 『判断力』

「セスクは試合の流れを読みとる能力が優れていました。どのようにプレーが進むのかを察知し、常に適切なポジションを見つけ、その場所にいるのです。他の選手よりも視野が広く、適切なプレーを選択することができるので、ボールを奪われることなく、決定的な場面を作り出すことができます」

もちろん運動能力が高いに越したことはないですし、ペイルやC・ロナウドのように爆発的なスピードを持った選手は脅威以外の何物でもありません。しかしそうではない選手もスターになれるのがサッカーというスポーツです。アバンにはスピードスターはいませんが、セスクのような判断力を身に付けるのは、決して不可能な事ではないとコーチは思います。習得するのに必要な要素は練習で幾度もやっています。意識を強めて取り組んでください。

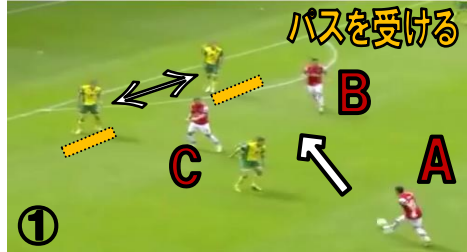
「1」から高める！

新人チームとして活動が始まりましたね。選手みなさん、活動の中で「1」にこだわって技術を磨いていこう！平日などの練習は、「練習」ですからミスを整える時間をかけられます。でも、1試合の中で1度しかないタイミングで1回のパス、シュート、替えのきかない1プレーだという意識と緊張感をもって、精度を求めて取り組みましょう！

「練習」だからこそ、緊張感をもって互いに「質」「精度」を高めることに本気で向き合い、本気でチームを強化していきましょう！ここから始めていこう！

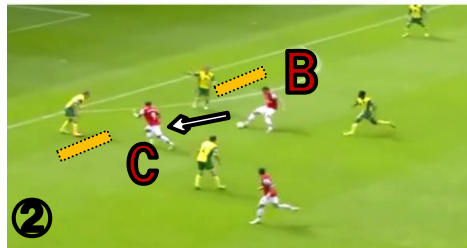
連続写真から学ぼう

アバンの前線でのプレーを改善する一つの策を紹介します。プロの試合から学んでみましょう。とてもシンプルですが、下図のような連携がないのが現状です。自分たちの試合に落とし込めればチャンスが広がります。キーワードは「相手DFラインを破ること」です。



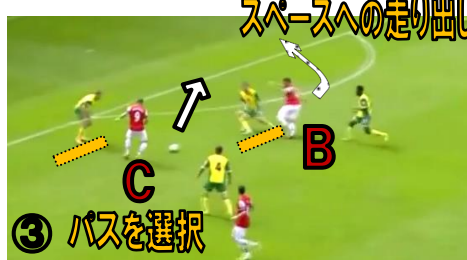
下線のCBライン間を突破するには？

・ボールを受けに下りてきたBへAがパスを出す。



・ボールを受けたBに対して相手のDFが食い付く

・ここで、BがCへパス。このパスにより…



・相手のライン間に段差ができました。

・パスを出したBは裏のスペースへ動き出す

・CがBの動く先へパス。



最後は走りこんできたBがシュートを決めるのみ。(実際のシーンではこの後シュートを外してしまします…)

この場面ではこのパターンだけではありませんが、今のアバンにないのはBの受け方(相手のバイタルエリアで受ける)とパス直後の動き方(ウエーブの動き)。チャンスを作るには必須の項目となります。

村上コーチの一押しプレイヤー

コーチがおすすめの選手を紹介するコーナーです。今回はポルトガルの注目すべき若手選手、FCポルト所属のMFルベン・ネヴェスです。恐るべき潜在能力を持っている弱冠19歳の選手で、年齢を感じさせない落ち着きがあり、ボールを奪取し、後方からビルドアップをするなど才能に溢れる選手です。17歳から飛び級でポルトガルのU-21代表に選出。ポルトガルの1部リーグでは史上最年少ゴールを記録。辛口ジャーナリストも絶賛する選手です。ポルトの試合はテレビで観るのは難しいのでyoutubeでぜひ一度ネヴェスのプレーを見てみましょう！！



ルベン・ネヴェス